

補正予算のねらい

安心して子育てができる高知を目指して、「共働き・共育て」の県民運動を実施するとともに、若者や女性が活躍できる高知県の強み・可能性を発信する新たな移住プロモーションを展開

補正予算のポイント

＜共働き・共育ての効果＞

1 出生数の増加につながる

・男性の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生率が高まるという調査結果あり

2 固定的な性別役割分担意識の解消につながる

・「家事・育児は女性」という意識を解消 ⇒若者、特に若い女性に選ばれる地域社会づくりにつながる

＜Point 1＞

若者や女性の多様な価値観が尊重され、すべての人が家庭でも仕事でも活躍できる「共働き・共育て」を県民運動として推進するための県内プロモーションを強化

＜Point 2＞

多様な価値観に対応できる本県の強み・可能性を発信することにより、若者・女性が活躍できる高知県をPR、Uターン・Iターンに向けた行動喚起するプロモーションを実施

主な事業

○県民運動推進事業委託料 14,952千円 [人権・男女共同参画課]

TVCM、WEB広告などを活用し、「共働き・共育て」を県民運動として推進するための県内プロモーションを強化

○UIターンプロモーション事業委託料 63,466千円 [移住促進課]

若年女性の多様な価値観に応じたショート動画を作成し、WEB広告、関東・関西の電車内等広告を発信するとともに、取組を主要メディア向けに発表

若年人口増加に向けた移住プロモーションの展開

《総合企画部 移住促進課》

現状・課題

- ◆移住施策では、Uターン・若者・女性をターゲットにデジタルマーケティングを活用した情報発信を展開しているが、本年度実施した若年層ヒアリング調査において、若年女性は「希望する暮らしや仕事を実現できる場が少ないイメージ」を持っているなど、県外転出やUターンの阻害に影響する様々な要因が顕在化
- ◆その背景には若年女性の多様な価値観があり、調査結果を踏まえた対策を早急に講じていくことが必要

- ◆多様な価値観に対応できる本県の強み・可能性を発信し、若者・女性が活躍できる高知県をPRするプロモーションを実施することにより、Uターン・Iターンに向けた行動喚起につなげる

コンセプト（目指す姿）

若者や女性の多様な価値観が尊重され活躍（自己実現）できる高知県

具体的な取組

取組のキックオフ！

1 移住プロモーションの全体像

誰もが活躍でき、家族のように温かい高知をイメージ



2 若年女性の多様な価値観に応じて作成する動画パターン（例）

県外転出・Uターン阻害の要因 （若年層ヒアリング調査結果より）

- | 仕事 | 希望が叶う企業が少ない |
|-------------|--|
| 希望が叶う企業が少ない | <ul style="list-style-type: none">・自身が得られる成長機会・仕事を通じたやりがいや楽しさ・働き続けられる安心感（給与や育児支援）・他人から評価を得られるネームバリュー |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none">・車を持たない場合は交通アクセスの悪さがネック・若者が少なく出会いの機会が少ない・子育て環境は良いが教育の選択肢が少ない・趣味を優先して居住地を選ぶ場合もある |
| 共働き・共育で子育て | <ul style="list-style-type: none">・家事は女性がするものという意識に違和感 |

本県の強み・可能性 （R5:30代以下の主な移住理由）

- ・キャリアチェンジ、自己実現のためにUターン
- ・希望する仕事が高知で見つかった
- ・時間にゆとりがある働き方がしたい
- ・地域貢献できる仕事を探していた
- ・過密な都会の暮らしから環境を変えたい
- ・パートナーが高知にいるためU・Iターン
- ・子育ては親元が安心なのでUターン
- ・サーフィンやアウトドアなど趣味を充実したい
- ・高知は女性管理職の割合が多い（帝国データバンク調査）

動画のイメージ【例】 実際に県内で活躍する若者を紹介

- ① キャリアを活かして任された仕事で活躍
- ② 高知でやりたかった仕事を実現
- ③ 高知でワークライフバランスを充実
- ④ 地域貢献、地域活性化にチャレンジ
- ⑤ 快適な通勤など時間のゆとりある生活
- ⑥ 同世代と交流できる機会を楽しむ
- ⑦ 地域で安心して子育て
- ⑧ プライベートでは山・川・海の自然を満喫
- ⑨ 共働き・共育で本気で取り組む高知県
- ⑩ 仕事でも自分らしく生きられる高知

3 スケジュール

